

アンデスの風

ボゴタ日本人学校だよりNo. 350
(令和元年度 第2号)

令和元(2019)年7月15日



ASOCIACION CULTURAL JAPONESA
Cra.8H No. 170-35 BOGOTA COLOMBIA
Tel+571-670-5130 Fax+571-672-7509
E-mail : bogota01@bogotaacj.com
URL : <http://www.bogota.acj.com>

校長 山中 史章

令和元年が始まり、ボゴタ日本人学校の教育活動も順調に進んでおります。日本人学校だけでなく、コロンビアの日本人社会にとっても、とても重要な行事であるボゴタ大運動会が6月16日(日)に開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、盛大にボゴタ大運動会を実施することができました。コロンビアに住む日本人だけでなく、コロンビアの方々も参加してくださり、130人あまりの参加者を得ることができました。

ボゴタ日本人学校の子もたちの頑張っている姿を見ていただき、私としては、とても有意義な、そして充実した運動会を行うことができた、と、自負しております。

今回のボゴタ大運動会を実施するに当たり、大使館の皆様をはじめ、木曜会の皆様、日本文化協会の皆様には、準備の段階から実行委員会のメンバーとして参加していただいたり、前日準備に多くの皆様に手伝っていただいたりと、多くの人の手によって作り上げた運動会だと思いました。皆様、ありがとうございました。



「夢から始まる やる気と自信！！」

校長 山中史章

ボゴタ日本人学校に、赴任して3ヶ月が経ちました。本校の児童・生徒は、真面目で一生懸命取り組む子どもたちです。

コロンビア共和国ボゴタ日本人学校で、生活している子どもたちにとって、ここでの何年かの生活が、将来の子どもたちの仕事や、青春期に抱く夢や目標に、大きく関わっていくと思います。

コロンビア共和国ボゴタという海外に住んでいるからこそ、自分の夢や目標をもって、欲しいと思っています。ボゴタ日本人学校で経験する一つ一つのこと、子どもたちの心に深く入り込み、心に入った種が、いつか大きく育ってくれることを望んでいます。そのために、日本人学校での体験を大事にしていきたいと考えています。

日本では、7月7日に七夕行事が行われます。短冊に子どもたちが願い事を書いて、それを大きな竹笹に飾ります。ボゴタ日本人学校でも、日本の伝統にふれるということで、児童生徒会が中心になって、七夕集会を開催しました。保護者の方から竹をいただき、そこに願い事を書いた短冊を飾りました。

子どもたちの願いをいくつか紹介したいと思います。

「日本語が上手になりますように」(低学年 男子)

「父さんと同じ仕事をしたい」(低学年 男子)

(お父さんの仕事は、外交官です)

「サッカー選手になれますように」(中学年 男子)

「アイス屋さんになれますように」(中学年 女子)

「医者になれますように」(高学年 男子)



子どもたちの中には、自分なりに将来の自分をイメージしている子どももいます。夢を語るかどうか、大事だと思います。今まで、30数年間、教職について、多くの子どもたちを見てきましたが、小学生の頃から、自分はこんな自分になりたいとか、将来こんな仕事に就きたいと考えている子どもほど、自分の将来の夢に近づいていけたように思います。

小学校と中学校という義務教育の9年間は、あっという間に過ぎてしまいます。できれば、小学生の頃に、自分はこんな大人になりたいというような、なりたい自分の姿や将来就きたい仕事などのイメージを少しでももてたら良いと思います。

今後も、本校で取り組んでいる「ようこそ先生」のような活動に力を入れていきたいと思っています。皆さん、ご協力の程、よろしくお願いいたします。